

香川県知事等南米移住各国訪問

3.平井知事の訪問

平井知事は、1986年(昭和61年)9月香川県知事に就任し1998年(平成10年)9月に退任するまで3期12年間知事の職を務めたが、南米各国を訪問したのは3回である。

第1回目は1993年(平成5年)、南米5ヶ国香川県人会代表者会議が開催されたときである。ブラジル・パラグアイ・アルゼンチン・ボリビア・ペルーの5ヶ国の代表がパラグアイの首都アスンシオンに集まり開催されたときである。

第2回目は1997年(平成9年)にブラジル・サンパウロに南米香川県人会館(現在ある会館)が新設し開館したとき、県費助成をしたいきさつもあることなどから強い要請があり、竣工式典に出席した。

第3回目は、1998年(平成10年)6月、知事3期目の最後の年にブラジル日本人移民90周年祭に参列した。



南米香川県人会館落成式に出席の平井知事

平井知事の南米訪問の報告

平成10年6月29日の定例記者会見より

先般来、南米5カ国を訪問してきたので、その経過について要点を申し上げます。

今年はブラジル日本移民90周年であり、日本からは小淵外務大臣が訪問した。ブラジル日本移民90周年祭委員会から招待されていたので、岡田県議会議長を始めとする県議会議員の皆さんと一緒に南米5カ国を訪問してきた。

本県にとって南米各国は、戦前から戦後にかけて多くの香川県人が移住し、それぞれの地域で困難を克服しながら、各国で重要な地位に就いて、大いに活躍している。この機会に各国の県人会を訪問し、慰問、激励するとともに開拓地へおもむき、その実態を視察してきた。

国別に申し上げますと、最初、ペルーを訪問した。ペルーには県人も大勢居て、戦前から大いに活躍している。ペルー社会においても、大変重要な

役割を果たしている。香川県でも海外技術研修員制度があり、その研修員が帰国後、活躍している実態も見てきた。ペルー訪問前に、大使館を通じて「可能であれば、大統領にもお会いしたい。」と申し上げたが、大統領は海外出張中であった。フジモリ大統領の姉のファーナ・フジモリ女史に大統領官邸内部をご案内していただいた。

次にアルゼンチンを訪問し、花卉農園である堀川農園を視察した。香川県で技術研修を受けて帰国したご息も一緒に農園を運営している。日系人の技術的な面、きめの細かさという面から、花卉栽培の分野では、日系の人達が中心になって活発にやっていた。

次にパラグアイを訪問した。パラグアイは日系の人達が大変活躍している国であるが、特に県人会会長の笠松氏は、パラグアイ政府からも大変高く評価され、勲章も受賞している。香川県出身の神内氏が建設を支援した社会福祉施設も視察した。パラグアイは、日本が最大の援助国である。国際協力事業団を中心にいろいろな事業を行っているが、その一つである林業技術普及センターも視察してきた。

次にボリビアを訪問した。首都はラパスで高地だが、低地にあるサンファンの移住地を訪問した。サンタクルスから車で3時間程の距離にある。香川県出身の県人会会長岡根氏は、農牧総合組合では組合長もされていたが、これは大変成功した事例である。陸稲、大豆、養鶏など総合的に事業展開しており、大変優秀な実績をあげている。

日程上最終になったが、ブラジルを訪問し、日本移民90年祭記念式典に参列した。一番香川県人が多い国である。昨年竣工した南米香川県人会館の運営状況も見てきたが、着実に運営されていた、これからは2世、3世の時代になるので、交流の拠点としてさらに活用していただきたいと期待している。

四国新聞 1993年(平成5年)4月23日付

遠い香川へ思いはせる

11年ぶり南米5ヶ国県人代表者会議
県訪問団に支援を要望 パラグアイ

【アスンシオン22日栗生武志記者】南米5ヶ国県人会代表者会議は、22日午後(日本時間23日午前)、パラグアイの首都アスンシオン市で開かれた。会議に参加した5ヶ国県人会会長ら代表は、県と県議会訪問団(総団長・平井知事、20人)と和やかに歓談し、古里に思いをはせた。

ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー、ボリビアの南米5ヶ国の県人会代表者が一堂に集うのは昭和57年、ブラジルのサンパウロ市で第1回会議を開いて以来、11年ぶり2度目。

訪問団を代表してあいさつに立った平井知事、谷川県議会議長は、「古里・香川は、今や国際化時代を迎え、世界に大きく開かれようとしている。移住された皆さまは、日本と南米各国との懸け橋、国際人の先駆けだ。一層の活躍を期待している」と困難を乗り越え、今日の地位を築いた日系人の繁栄をたたえた。

会議では、5ヶ国の県人会会長ら代表者が、それぞれの国の政治・経済情勢をはじめ、県人会や日系人の活動状況などを率直に話し合い、県、県議会に対し、移住者への変わらぬ支援を要望した。

平井知事らは、5ヶ国会議に先立ち、同日午前、パラグアイのロドリゲス大統領を表敬訪問したほか、パラグアイ県人会20周年記念式典に出席、交流の輪を広げた。

訪問団は23日、アスンシオンからブエノスアイレスに向かい、アルゼンチン県人会の会合に出席。25日、帰国の途につく。

このとき、四国新聞社は栗生武志記者を南米に派遣、平井知事らに同行して、「アミーゴ南米友好の旅」と題する5回の企画記事を連載した。

